

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年7月5日発行

— 2018.6.25～2018.7.1 — 第26週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第23週	第24週	第25週	第26週
水痘	12 2.40	8 0.80	2 0.40		3 1.00	1 0.20		11 0.41	37 0.63	624				○
流行性耳下腺炎		1 0.10			1 0.33			3 0.11	5 0.08	101				
感染性胃腸炎	26 5.20	56 5.60	14 2.80	21 10.50	10 3.33	25 5.00		205 7.59	357 6.05	7,509	◎	◎	◎	◎
手足口病	4 0.80	3 0.30	1 0.20		6 2.00	3 0.60	34 17.00	14 0.52	65 1.10	430	○	○	○	◎
伝染性紅斑				2 1.00				21 0.78	23 0.39	202				
突発性発しん		9 0.90	8 1.60	3 1.50	3 1.00	2 0.40	1 0.50	17 0.63	43 0.73	738	○	○	○	○
ヘルパンギーナ			2 0.40			2 0.40	1 0.50	17 0.63	22 0.37	94				
インフルエンザ					3 0.60			13 0.30	16 0.17	33,993				
咽頭結膜熱	8 1.60	5 0.50	2 0.40	2 1.00	1 0.33	3 0.60		32 1.19	53 0.90	589	○	○	○	○
流行性角結膜炎	1 1.00								1 0.08	92				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46 9.20	14 1.40	12 2.40	4 2.00	6 2.00	24 4.80	3 1.50	77 2.85	186 3.15	4,992	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00		1 1.00			2 2.00		4 0.33	85				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	3 0.60	8 0.80	3 0.60		2 0.67	1 0.20		31 1.15	48 0.81	869	○	○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	29				
拡張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1					1					
	川崎病								2					
	不明発しん症								5					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 女性2名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 女性1名、男児1名*、女児1名*

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙南管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O166)
大崎管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
大崎管内 女性1名

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名
レジオネラ症
塩釜管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 女性1名
梅毒
仙台管内 男性1名、女性1名
百日咳
仙台管内 女性2名

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第22週採取分 ノロウイルスGⅡ群 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第23週採取分 (6.4～6.10)	第24週採取分 (6.11～6.17)	第25週採取分 (6.18～6.24)
RSウイルス	1件	1件	2件
ヒトメタニューモウイルス	3件	5件	5件
アデノウイルス	4件	0件	3件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	2件	3件	4件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌の感染により発症し、腹痛、水溶性下痢及び血便などを引き起こす感染症です。小児や高齢者など抵抗力が落ちている人が感染すると重症化することがあるため注意が必要です。県内では今週3例の報告があり、患者報告数は20例となりました。加熱不足の食肉を介する感染や、患者や保菌者からの感染報告も多くみられます。気温が高い季節を迎え流行シーズンとなりますので、手洗いの励行など一般的な予防対策に留意して下さい。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

